

2018年(平成30年)5月2日

# アイスピグ 大和市で圧送管洗浄 神奈川県初施工 腐食環境を改善

アイスピグ研究会会員である東亜クラウト工業(山口乃理夫社長)は、大和市から「平成29年度圧送管浚渫業務委託(深見城ヶ岡地区)」を受注、アイスピグ管内洗浄工法により長距離圧送管(φ200×750)の洗浄作業を実施した。神奈川県内における同工法の受注は初。

洗浄対象管路は、北部浄化センター近傍の境川沿いに布設された圧送管路。上流側の圧送ポンプでの圧力異常などの不具合は見られていないものの、下流側吐出口ではマンホール蓋内面および受け枠が著しく腐食劣化を起していることから、同市では管内部においても同様の腐食劣化が進行していると判断。管内堆積物等の除去による腐食環境の改善を検討する中で、全国的に圧送管洗浄実績を構築しつつあるアイスピグ管内洗浄工法を採用した。

工事区間は幅員が狭い公道のため、日中の道路占用が困難。周辺交通への影響を考慮し夜間に作業を実施した。綿密な圧力管理を行いつつ、上流側から圧送管内にアイスピグを注入、約30分で洗浄作業を完了した。洗浄後には、硫化水素発生の原因であったバイオフィ



塩ビ管破片など大きな固形物も回収



清掃前の管内の状況(塩ビ管破片の詰まり)

ルムや管内堆積物(有機物等)が除去されたことで、吐出し口での硫化水素濃度は0ppmとなった。今回の予防保全的な

洗浄作業の実施により腐食環境が改善されたことで、圧送管路の延命化が期待される。また、回収物の中には、

塩ビ管の破片や目薬ケースなど大きな固形物も含まれており、アイスピグの優れた洗浄力と搬送力 が確認されている。